

**江東未来会議**  
**第2分科会（産業・生活分野）**  
**第4回 議事概要**

日時：平成19年11月29日（木）19:00～21:00

場所：江東区文化センター2階 旧区政PRコーナー

参加人数：16人

**1. 開会**

**2. 事務局からの連絡事項**

- ・本日は、江東CATVが撮影取材に来ている。撮影取材に関して参加者の反対がないようであれば、撮影取材を受け入れたいと考えている。  
(特に反対意見はみられなかったため受け入れ)

**3. ワークショップ**

**(1) グループ別作業・討議**

前回に引き続き、「産業・消費生活グループ」「コミュニティグループ」「文化・観光グループ」の3つのグループに分かれ、重点課題の選定とその解決に向けた検討を行った。

【作業結果】詳細は別紙（「第4回江東未来会議 産業・生活分野」グループ討議結果）参照

**(2) 発表**

○文化・観光グループ

- ・本日は各論の議論に入った。観光案内は多く出ているので、年表などを組み合わせた江東区歴史カレンダーを作成し、小・中学校の教育の必読書として取り入れてもらいたい。
- ・今後、グローバル化の進展により既存産業の衰退が危惧される中、観光が産業の中心になってくると思われる。区内の豊富な観光文化財を眠らせたままにせず、活用することで、まちの活性化につなげていきたい。また、イベントの仕掛けを積極的に展開し、区外の関心を高め、観光客を増加させる。
- ・海外から来た人にもわかりやすいグローバル化に対応した環境整備が必要である。
- ・本所、深川は、歴史的には向島まで含めて1つの地域を形成していたが、行政の区割りにより別の区になった。本所・深川を合わせた案内をつくり、舟、車を活用し、押上タワー（第二東京タワー）の観光客を臨海部に誘引したい。
- ・江東区の住民は、江東区を十分に理解しておらず、また、愛していないことが最も大きな問題であり、議論の出発点である。

- ・ガイドを実践している実感から言えば、江東区は良いところが多くあるのに、知られていない上に興味も低い。若い世代、特に区の管轄である中学生までの間は、区政として江東区の歴史や観光、文化を教育活動として取り入れてもらいたい。そのためのベーシックなデータとして、「江東区歴史カレンダー（年表）」が活用できればよい。カレンダーには、固い話だけでなく、柔らかい話も含めて、様々な素材を整理すればよい。また、中学生のグループ活動を通じて新しい情報が得られれば追加して年々更新できればよい。
- ・カリブ海の諸国は、GNPの35～75%が観光産業であり、小学校教育に、航空会社が使用するような厚手の観光教科書を利用し、観光教育を徹底している。江東区においても、今後、産業そのものが観光であるという考え方を持つことが必要になってくると思われ、教育の個性化があつてよい。

### 【質 疑】

#### ○参加者

- ・江東区の歴史・文化といえば、池波正太郎の時代小説があるが、もう少し売り出してはどうか。

#### ○参加者（文化・観光グループ）

- ・日常渡る橋の中にも、池波正太郎の歴史小説の中に登場しているものがある。カレンダーにはそうした内容も取り入れていきたい。

#### ○コミュニティグループ

- ・「コミュニティの基本は、コミュニケーション」をキーワードに、メンバー個々の活動に関わる情報や資料の共有を行った。
- ・自治会活動の目的は、自治会として認められ区から何かを得ることではなく、高齢化が進む中で、もしもの時の助け合いのために、普段のつながりを持つことである。具体的には、東陽町駅の利用者は12万人／日にのぼるが、大規模災害時には帰宅困難者が大量に発生する可能性がある。そのような時は、近隣マンションの空きスペース（1階エントランスホールや廊下部分など）を提供するなど、マンション全体で助け合えるような体制が必要である。
- ・消費者センターの活動として、食品の安全の問題が挙げられた。
- ・プレイパークを区に支援してもらうためには、施設内の活動と違う外での活動への評価が難しいことや、事故発生時の保険など安全対策も検討しなければならない。
- ・江東区全体の施設配置をみると、病院は公的な病院だけでなく民間の病院も多いため、配置に偏りがみられる。学校施設は統廃合が可能だが、長寿命化が進む中で、今後は、病院の適正配置に関する検討も必要になるのではないか。
- ・また、本日欠席の方から子育てに関して「子育てたんぽぽ砂町」の情報をFAXで頂い

ている。

## 【質 疑】

### ○参加者

- ・町会の活用はどのように考えているのか。町会は本来、コミュニティの仲介的な機能を持つべきだが、実態はそうになっていない。町会が本来の機能を発揮するために必要なことを提案できるとよい。

### ○参加者（コミュニティグループ）

- ・行政のバックアップが得られるため、町会参加はコミュニティの基本になると考えているが、難しい面が多い。町会に参加していないと、子どもの祭りの参加にも格差がみられる。また、マンションに賃貸世帯が多いと、町会参加への全員合意が得られにくい。高齢者の中には別町会の老人クラブに参加している人がおり、なじんだ老人クラブを辞めてまで新たな町会に入るのを勧めるのは難しい。

### ○参加者

- ・マンションの居住者全員が町会に参加して、町会の中核を担っているケースもある。

### ○参加者

- ・町会費用を払わないと敬老会に入れないが、近年のマンションはセキュリティが厳しく町会費の徴収が難しくなっている。

### ○産業・消費生活グループ

- ・これまで議論してきた内容について共通認識を持つことから議論をスタートさせた。
- ・江東区の他地域にない特徴として陸海空が揃っているが挙げられる。「空」は、ビッグサイトやテレコムセンターなど文化、情報の発信基地であり、「陸」は、京浜、京葉の陸路のハブとして流通拠点となっている。「海」は、東京港が海運物流拠点となっている。これらを活かさなければならない。
- ・繊維産業は、江東区、墨田区、江戸川区の3区で東京の80%を占めている。ガラスも江戸切子がある。その他にも、印刷、製本、金属、機械、木材、運送、物流産業があるが、各産業の発展の過程で工業団地的な発想がなく、ばらばらに発展し、跡継ぎのない産業は衰退している。
- ・また、業種間、同業間の結びつきが弱く、大田区のように国際競争力や特色を持った産業が少ない。しかし、IT企業が進出しており、今後の産業、消費を展望すると、IT産業と既存産業とを結びつけて考えていくことが重要になると考えられる。
- ・商店街に関しては、深川、亀戸・大島、砂町の3地区が大きな商店街だと思われる。また、若い世代という点では、大学の立地は重要であるが、芝浦工大、東京海洋大学があり、産学連携の体制が取りやすい。
- ・これらの資源を連携させながら、中小企業とIT企業を結びつけて、仮想商店街をつく

ってはどうか。高齢者も買い物に出づらくなるが、共稼ぎの若い夫婦も買い物の時間帯が合わないことが多い。ネットワークを通じて注文すれば学生が配達してくれる、安くホームページを作成するために、関心の高い学生を活用するなどの取り組みをモデルケースとして大きな商店街で実施できればよい。

- ・これらの取り組みを推進する契機としては、2016年の東京オリンピックの開催、2008年4月の江東さざんかカードの運用、築地市場の移転がある。
- ・消費面をみると、江東区は住宅系の土地利用が平成13年から18年にかけて11%増加している。人口は約1.7%の増加である。消費も人口増に比例して拡大していくと考えられる。また、学生など若い世代を呼び込むことによって、各年齢層の活性化も図られる。
- ・こうした共通認識を持って、どのような産業をどのような仕組みで生み出していくのか、次回検討したい。

#### 4. その他

##### ○深田コーディネーター

- ・次回は、12月19日（水）19～21時で開催予定である。
- ・次々回以降の日程調整票は、来週7日（金）までに事務局に提出していただきたい。

##### ○事務局

- ・本日配布したパンフレット等の関連資料の持ち帰りをご希望される方は、若干の余部があるのでおっしゃっていただきたい。
- ・本日、撮影取材のあった江東CATVの番組は、12月13日～15日の3日間にわたり、9時、12時、15時、19時の1日4回、「〇〇なまち江東」という番組で放映される予定である。

(以上)

文化・観光グループ

## 1. 江東区歴史カレンダー(年表)の作成

- ・江東区民(新住民含めて)として『江東区をもっと理解し、愛し、誇り持つ』ようにする。

学校内の教育に力を入れてもらう。(小・中学校から)  
江東区教育の個性化(文化財と水彩都市)  
例 カリブ海の国々の小学校教育

- ・イベントの仕掛けを積極的に展開する。
  - ①区外の関心を高め、観光客の増加。
  - ②これらをグローバル化して行う。←海外からも
- ・江東区歴史上本所・深川を合わせた案内を作る

コミュニティグループ

前回のテーマの見直し(おさらい)

キーワード: コミュニティの基本はコミュニケーション

グループ宿題ー情報、資料の公開  
グループの知識の共有

町会  
↓  
も考える

①マンション自治会(準備委員会)の活動状況

- ・区から行政サービスを得る前に3年程度の活動実績が必要
  - ・自治会の目的は普段が大事！
    - 明るく挨拶のかわせるマンション
    - 災害時マンション全体で助け合える
    - 高齢化の中で、もしもの時の助け合い
- この普段のつながりが 災害時 に生きる

②消費者センターの活動

- ・最近多い企業の不祥事(食品の安全)の問題

③「プレイパーク」を区として公的に 認知してもらうには...

- ・施設内の活動と違う 外での活動への評価は難しい
- ・安全(事故)への懸念(保険は?)

④第2回に配布された区マップ(H19. 9版)の内容を見る

- ・? 病院の適正配置も今後は必要か?

⑤別紙「子育てたんぽぽ砂町」をFAX受信

子育てに関する情報

産業・消費生活グループ

**共通意識**

“区産区消”  
→住宅系 11%増(H13-H18)

※オリンピック 16年  
※さざんかカード 08年4月  
※市場移転

- (空)文化、情報の発信基地(ビックサイト、テレコムセンター...)
- (陸)京浜、京葉の両臨海地帯を結ぶ陸路流通拠点
- (海)東京港の国際港としての海運物流拠点

**江東区産業の特色**

- ・工業団地的発想がない(店舗がバラバラ)
- ・業種間、同業間のストーリーがない
- ・競争力、特色が少ない

繊維(江東、墨田、江戸川で80%)、ガラス(江戸切子)、印刷、製本、金属、機械、木材、  
運送、物流  
※最近では情報関連業の集合(IT企業の定着)

関係の強化

大きな商店街:「深川地区」、「亀戸・大島」、「砂町」・・・街づくり  
大学:芝工大、海洋大(産学協同)、学生を活用(アルバイト、授業の単位)